

第 1 回までの意見	第 2 回での意見
<p>紙 ご み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供会、自治会、婦人会に入っていない人へも古紙（雑がみ）回収に係る周知が必要 ○自治会未加入の家庭にも居住地域の自治会の古紙回収への協力呼びかけが必要 ○住民が古紙回収へ協力すること及び雑がみについて認知向上させることが必要 ○「ごみカレンダー」では、紙ごみも可燃ごみで出せるようになっているが、汚れた紙ごみと変えることが必要 ○古紙回収を子ども会が運営しているが、現状では雑がみを出している家はかなり少数なので、雑がみとはどんなものか周知が必要 ○雑がみの認知を上げるためエコネット城南で雑がみとはどういうものか今一度大々的に宣伝することが必要 ○自治会の古紙回収で、雑がみを出せる事を知らない人が多い。広報啓発が必要 ○「チラシ投函不要」のステッカーを配布しポスティングされる非常に多くの不要なチラシを減らす必要がある。 ○ホームセンターなどでの古紙回収ボックスの設置場所をマップで公開し、利用を呼びかける必要がある。 ○学校で配られたプリントの後ろの白紙部分で漢字の練習や筆算をして紙ごみを減らす必要がある。 ○使い切ったティッシュケースをごみ袋代わりにして、部屋ごとのごみ箱をいくつも買わない。 	<p>第 2 回での意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自治会、女性の会等未加入の方も自治会回収の対象に。 ○雑がみとは何か、動画や写真で具体的な例で分別方法を詳細に情報発信すべき ○分別ルールの簡素化：シュレッダーした紙も再資源化することの検討 ○雑がみ、古紙回収拠点や民間回収拠点を示したマップアプリの導入 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px; text-align: center;"> 古紙・雑がみの分かり易い分別の啓発 回収拠点の場所や回収の仕組みの周知 </div>
<p>生 ご み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンポスト・生ごみ処理機等の導入補助制度の拡充が必要 ○野菜の皮、大根、カブの葉など栄養があるが捨てられることが多い有効活用できる情報（栄養があって美味しく食べられること、食べきりレシピなど）を周知する必要がある。 ○生ごみは、庭・ベランダで乾燥させてから処分すればほぼ消滅することを周知する必要がある。 ○スイカを食べたあとの皮をそのままごみとして捨てるのではなく、必ず日に干して水分を抜いてから捨てることを周知する必要がある。 ○生ごみ・剪定枝や葉・雑草を一か所に集めて、精米所で無料でもらってきた米ぬかを入れ込むことで、生ごみ、枝、葉及び雑草が発酵し、家庭での園芸や野菜栽培においての無料の有効な肥料として活用できることを周知する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンポスト・生ごみ処理機の普及 ○食べきりをテーマにした出前講座 ○フードドライブ取り組み店舗の周知 ○生ごみのたい肥化・メタン発酵等資源化 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px; text-align: center;"> 生ごみの水切り・食べきり・使い切りの 3キリ運動の周知とコンポストなどを活用した減量の徹底 </div>

<p>○毎日使う麦茶などのティーバックはしっかり水を切ってから天日干しにし、剪定枝・葉は少し乾かしてから出す、スイカの皮はプランターの土の上に皮の方を上にして置くと、何日か経つと薄皮一枚になることなどを周知する必要がある。</p> <p>○生ごみの水分を減らすため、生ごみ処理機の購入補助も導入する必要がある。</p> <p>○お茶葉、コーヒーかす、再生用土、落ち葉等はコンポストを利用し処理できることを啓発する必要がある。</p> <p>○冷蔵庫内をチェック（消費期限など注意して必要なものだけを用意する。）、残った食材（野菜など）カレー料理に生かし、生ごみコンポストも活用できることを周知する必要がある。</p> <p>○紅茶の葉はポン酢と白ごまで和えて一品として使え、野菜も効率よく上手に使う工夫をし、野菜、果物の皮、たね等は、庭に埋め（米ぬかを少し加えたり）たりすると、もえるごみの日に出すごみの量がすごく減ることを周知する必要がある。</p> <p>○生ごみ処理機は高価であり、野菜くずを畑に埋め、学校のプリント、紙類は古紙回収に出すと結構減量化できることを周知する必要がある。</p> <p>○大根や人参等、皮ごと食べられる物は皮を剥かず、たわしでこすって調理しキャベツの芯や、白菜の芯も活用すればかなり減量できることを周知する必要がある。</p>	
<p>プ 「プラごみの分別」</p> <p>ラ 洗って乾かしたり、紙のシールを剥がしたり、プラ以外の部分を切り離したりしてプラごみに捨てられるものはプラごみに捨てることを周知する必要がある。</p> <p>ご 「プラマーク汚れていたらもえるごみ」</p> <p>み プラマークの分別に頭を痛めますが、家族にもわかるようにごみ箱のふたに貼るなど工夫することを周知する必要がある。</p>	<p>○プラごみの分別の仕方の具体的詳細の周知</p> <p>○プラごみの一括回収</p> <p>○プラごみ分別の周知啓発</p>
<p>周 ○住民がごみを排出するにあたり分別意識を向上させる広報が必要</p> <p>知 ○環境美化について教育の機会を増やすため、出前講座の開催が必要</p> <p>啓 ○ごみ排出時の分別を徹底させるために、市町と組合が協働して大々的に広報すべき</p> <p>発 ○企業による製品回収、集会所やスーパーでの情報発信強化が必要</p> <p>○市町で分別方法が異なるため、この機会に統一して周知をやりやすくしてはどうか</p> <p>○ごみ分別、減量について住民参加型の周知活動が必要</p>	<p>○分別する人が得をする仕組みの検討</p> <p>○環境ふれあいひろばでのエコポイントの活用</p> <p>○環境ふれあいひろばの更なる周知</p> <p>○学校へのごみ減量出前講座</p> <p>○分別推進のためのエコポイントの活用</p>

<p>減量 各 種 ア イ デ ア</p> <p>「資源ごみの分別」</p> <p>○ネットで服を買った時についている大きめの紙袋に資源ごみをいれ、買い物の際に近くにある資源回収ステーションに持ち込む。また、最近は気温が上がり、生ごみの処理が大変になってきたので、使い古しのジップロックに生ごみを入れごみ出しの朝まで冷凍庫に保存しておくという取組など周知すべき。</p> <p>○アルミ缶のみの回収日を作り、回収後リサイクル業者に持って行ってもらうことを検討すべき。 (現状は、集めたアルミ缶はリサイクルされ現金化され、お金は子供会費になっています。その日に出してない人はごみ収集の缶の日に出しています。いつも町内会で出したら良いのにと思っているのですが月一の回収で、手間もあり仕方ないと思っているのですが換金目当てでアルミ缶などを持って行く車を度々見かけます。正直知らない人のお金になるぐらいなら市で回収し費用は市に入ると財政も少し良くなるし、リサイクルされ環境にもいいのかと思います。</p>	<p>○SNSを活用した啓発</p> <p>○出前講座の実施</p> <p>○エコポイントを活用した啓発事業参加の 促し</p>

- 分別ができていないゴミ袋は回収しないなど厳しい対応も必要
- 間違っただけで排出されている事例を啓発すべき
- アムステルダム10Rも先進事例として取り入れるべき
- 布おむつの使用奨励、子供服のお下がり、市町規模のリサイクルシステム構築すべき。
- リサイクル率向上をゴミ減量の目標の一つとして掲げることを検討すべき。
- 小型家電が公民館で回収されていることを知り今まで迷わず燃えないゴミに出していた小型家電を回収ボックスに持って行った。知らなくて燃えないゴミにだしているひとも多いんじゃないかと思う。もっと周知できるように広報だけでなく集会所の掲示板やスーパーなどに掲示することを検討すべき
- よしずのスタレは「なぜもえないゴミ」なのかわかりにくい。周知の工夫が必要。
- ゴミを減らすには何とんでも私たち一人ひとりのゴミを減らそうという意識が大事であり管理組合による出前講座を充実させるべき。(①テーマ：ゴミを減らすことの大切さ ②場所：各町内にある集会所)
- 説明会(セミナー)を開催も検討すべき
- 選挙の投票日になると、同報系のスピーカー、広報車など様々な方法で投票が呼び掛けられるが、それと同じレベルでゴミの分別を毎日呼び掛けることも検討すべき

- 子供服はお下がりですぐに貰ったり、譲ったりして減量化することを周知すべき。
- オムツは紙オムツではなく布おむつを使用することを推奨すべき。
- おもちゃのかえっこバザールをもっと周知すべき（先日初めておもちゃのかえっこバザールに参加し、お手伝いなどしてポイントを貯め、おもちゃを見てみるとまだまだ使えるおもちゃ達と交換し、子供が外出にも持って行ったりめちゃくちゃ使用しています。持って行ったおもちゃも帰宅時にはなくなっており誰かが貰ってくれたのがすごく嬉しかったです。家に帰宅後、おもちゃを減らすのを嫌がった子でしたが次の持ち主に行く事が分かったので手放してくれるようになりました。もう少し認知されてもいい活動です。）
- かえっこバザール同様に子供服の交換会も期間限定でもいいので開催を検討すべき。（例えば 10 時から 11 時までお洋服回収。12 時から交換会開始。余った服は古紙回収に。）
- 一度使ったティッシュのごみだけのごみ箱を作り再利用で食後のお皿の汚れを拭き取ったり、フライパンの油汚れを拭き取ってから洗うようにしていることなど周知すべき。
- 流し口のごみを拭き取ったり、お風呂場の排水溝の汚れを拭き取ったりして再利用していることを周知すべき。
- ごみ処理に係る経費を具体的に示し、減量することで節約できる経費で、医療福祉、教育など市民生活を豊かにする分野にこれだけのお金を回すことができ、具体的にこんなことができると分かり易く周知すべき。
- 断捨離で不要になった物品を市町村規模でリサイクル、格安販売してもらえるシステムを充実させることを検討すべき。（不用品を個人搬入できたり、いつでも購入できたりするフリマ施設のようなものがあれば楽しい）
- 学校の学習補助品（習字の道具、ピアノカ、リコーダーなどの楽器、理科実験道具）など共有して使えるように検討すべき。（個人購入の負担も期限される）
- 売り手の責任を高めることを検討すべき。
- ユニクロやニトリなどは不要になったものを企業単位として回収している。せめて売ったものは回収してリサイクルできる方法を確立させることを検討すべき。
- 特に、電気製品、布団などは捨てるのにも抵抗があり半永久的に修理、補修して使えるような製品を企業に作ってもらえる仕組みを検討すべき。

- 過剰包装はしない、プラスチック製品での包装を極力控えるなど製造者に求めることを検討すべき。
(プラスチック製品での包装を極力減らすのは製造時にしないと個人ではできない)
- それ自体がごみである菓子袋や衣類の包装紙をごみ袋の代用で使用できることを周知すべき。
- 樹木の剪定くずをこの夏の乾燥対策として土の上に敷いていることも周知すべき。
- 着れなくなった服などを宇治市役所に持って行ったり、お母さんが、はかなくなったズボンで、カバンを作ったりできることを周知すべき。
- 子供の小さくなったジャージやズボンを切って、寝るときなどに、足につけて足が冷えないようにしたりできることを周知すべき。
- 教育機関を活用した子供用品全般のリユース事業を検討すべき。
- 子供用品が必要な時に新品を購入するというのも一つの方法だが、おさがりを活用することもごみ減量の方法の一つとして検討すべき。
- おさがりに抵抗がある人も多いが、子供に対しリユースについて教育すれば、親の意識も変わっていく可能性があるので検討すべき。
- 教育機関が主体となって交換できる場を提供できれば、フリマ等にわざわざ出かけることなくリユース品を探すことが可能なので検討すべき。
- 壊れているものを直すということがリペアと思われがちだが、ビジネスとしては成り立ちにくい。リペアのメリットは材料費が安く済む。余った予算で新たな付加価値をつけて販売することができることを周知すべき。
- 家具の場合でも、足にクッションをつける等付加価値をつけて販売することが可能であることを周知すべき。
- 宇治であれば廃棄される宇治茶の使用済茶葉を、せっけんの香り付けに活用することなどを検討すべき。
- フリマ出店経験からリセールに着目したが、フリマ出店した際出店料が必要となるが利益が少なくなるため、学生が求めているのは、行政が場所提供、出店料補助、什器貸出をやってもらえればさらにフリマ等でのリセールが増えるので検討すべき。
- 行政が実施するイベントではP R方法も課題となるが、TikTok、インスタ等の活用方法は若い人や学生が詳しいので、得意な分野で協力可能なので検討すべき。

- ごみと思わず、新たな価値観を見出してもらうことを重要視すべき。
- 古着という、誰かが着古したものと嫌われることもあるが、新たなタグをつける、古本であればブックカバーを学生がデザインする、学生が出店している等といった付加価値をつけて販売するなど工夫できることを周知すべき。
- 行政が実施しているHP、掲示板、ポスターの作成等、学生とコラボして実施するということができれば面白いものが作成可能できるので検討すべき。
- 行政にすべて任せるのではなく、学生の知識、行動力、つながりを活用することも検討すべき。
- 食品ロス、おもちゃ、古着等の再利用が必要、古紙のリサイクルのため、ショッピングモールに回収ボックスを設置するなど検討すべき。
- 古紙回収の促進のため、宣伝（周知）が必要。より広く周知するため、例えば宇治市であれば京都大作戦、市出身の著名人とタイアップし、リサイクルの大切さを発信することなど検討すべき。
- 立命館宇治高校では中学高校で制服が変わるため、そのタイミングで制服のリセールを購買等で実施する。売る側には収入があり、買う側には安く買えるというメリットがあるのでこういった取り組みを広げること検討すべき。
- 住民はごみの分別カレンダーにより分別を行うが、分別についてあまり意識ができていない世帯がある、ごみを分別しない人の心理状況としては、自分にとってのメリットがない、めんどくさいということが要因、分別を意識してもらえよう子供から高齢者までどうやってアプローチするか考えた場合、子供⇄大人⇄高齢者を一体とした多世代交流のサイクルを生成することが必要であり、多世代交流のサイクルをまわすため、多世代が参加できるイベントの企画を行うことを検討すべき。
- イベント参加には、参加者のメリット創出、参加のためのハードルを下げる必要がある、まず参加のためのハードルを下げるため、ショッピングモールでイベント開催する。ショッピングモールで開催するメリットは、親子世代が買い物ついでに参加できるということが、参加のハードルが下がる大きなメリット。さらに、ごみ問題だけのイベントを行政単独で開催するより、様々な世代に多く参加してもらいやすいショッピングモールでの開催が重要、次に、参加者のメリットを高めることについて。人は自分にメリットがないとなかなか行動してくれない。だから、イベントに参加することによるメリットとして、農家とタイアップし野菜をもらえる参加賞を用意する。親子世代にとっても野菜をもらえるのは大きなメリットとなることなど検討すべき。

	<p>○子供にとっての学びやメリットとしても、ごみ問題を自由研究のテーマにできる等のプロモーションも可能なので検討すべき。</p> <p>○農家とタイアップするメリットとして、生ごみの減らし方、食べきりレシピ等、先人の知恵を継承する高齢者から子供世代への多世代交流の機会を創出することを検討すべき。</p> <p>○ごみ問題だけに着目するのではなく、温かい社会の構築、多世代交流の推進といった視点で、地域全体で一緒にごみ問題に取り組んでいける雰囲気づくりを行うことも検討すべき。</p>	
その他	<p>○事業活動に伴って排出される事業系一般廃棄物に対しても厳しいごみ減量義務化を検討すべき</p> <p>○将来的に埋立地（最終処分場）の確保が困難なことから、埋立ごみゼロを目指すべき。</p> <p>○食品トレーはスーパーに設置されているリサイクル BOX に持っていくと、家庭ごみが減り、食品トレーのリサイクルにも繋がるので一石二鳥になる。回収に際してスタンプカードなどが押されて、商品やスーパーのポイントに交換できるなどの周知を広げること検討すべき。</p> <p>○京滋バイパスの出入口の植込みに投げ捨てられた缶・ペットボトル・袋類が散らかっています。信号待ちの時に手の届くものは家に数個ですが持ち帰ったりします。植込みが手入れされないと見えないのでよけいに不届き者がいるのかと思います。芝生にしてごみが捨てにくい情景にしてはどうか検討すべき。</p> <p>○子供のころから環境美化について教育することを検討すべき。</p> <p>○サークルで、物品等工作してアートの作品として紅花とコラボすると、使い道いろいろあり大変面白い。生花展等最近はアートと上手に組み合わせしていてグッドアイデアと思うので検討すべき。</p> <p>○八幡市では月の第5週には資源ごみの回収がない。その日に衣類や古布を回収することを検討すべき。（効果…回収した衣類や古布をリサイクルや売却することができればごみの減量につながる。）</p> <p>○スーパーで買った商品をバックに入れる時に、ビニール袋をたくさん持って帰る人がいるので必要な分だけ使えるようにお肉やお魚売り場など袋を使うところにだけ設置することなど奨励すべき。</p>	
経済的手	<p>○ごみ分別、減量について周知しても行動変容（協力）してもらうには経済的手法が必要</p> <p>○住民にごみ分別、減量に協力してもらうにはごみ袋有料化が有効</p> <p>○ごみ袋の有料化については、京都市などの例を見ると反対。不法投棄が増え、スーパー、生協のごみ箱にトレーやラップがあふれ、ごみ出しに使用できる透明袋を（有料化して指定袋となれば）ごみとし</p>	○エコポイント制度の活用

法	<p>て出すことにより、かえってごみが増えることになるので慎重にすべき。</p> <p>○家庭から排出されるごみについてはごみ袋の有料化を行う。また事業系廃棄物については家庭系よりも処理手数料を高く設定する。家庭系ごみだけでなく、事業系ごみの減量も必要</p> <p>レジ袋有料化によりマイバックの普及率が上がったようにごみ袋有料化が有効であると考えます。</p>
---	--